

表1 新物流ルート「中部陸海大ルート、航空国際大ルート」

| | |
|----------|--|
| 中部陸海大ルート | <ul style="list-style-type: none"> ASEAN、EU、米国、日本の4つの重点貿易パートナー地域へのアクセス、および京津冀(北京市、天津市、河北省)地域、長江デルタ地域、広東・香港・マカオグレーターベイエリア、成渝(成都市・重慶市)地域との連携を強化し、日韓、欧州、ASEANさらにはグローバルに連結する「東西南北10ルート」を構築する。 東へは長江を活用し、河川・海上連絡輸送の能力をさらに向上させ、近海への直通航路を積極的に発展させ、遠方高速航路の開通も検討。海洋を利用した輸送ルートを強化する。 西へは中欧班列を活用して、欧州、中央アジアへの鉄道輸送を強化する。また中央アジア、南アジアへの新たな鉄道ルートの構築も行う。 南へは、RCEPを通じたチャンスを確実に生かすべく、広東・香港・マカオグレーターベイエリア、西部陸海新通路との主体的な連携を通じて、ASEANと連結する鉄道・海運連絡輸送ルートの構築を加速させる。 北へは、中欧班列の海外ネットワークの整備に注力し、モンゴル・ロシア経済回廊と連結し、河川・海上・鉄道連絡輸送の定期路線化を推進する。 |
| 航空国際大ルート | <ul style="list-style-type: none"> 世界の地域経済の中心地、国際航空ハブ、世界主要観光地を結ぶ航空ネットワークを完備する。武漢天河国際空港と鄂州花湖空港の旅客・貨物輸送「デュアルハブ戦略」を加速させ、航空路線ネットワークの最適化を図る。貨物航空路線の発展に加え、旅客機の貨物スペースへの貨物積載力を掘り起こし、両空港の「貨物スペース+貨物機」航空路線の構築との連携を深める 欧州、米国への国際貨物航空路線を強固にし、北東アジア、東南アジアへの貨物航空路線の密度を高め、豪州や中央アジアとの貨物空港路線を開通することで、「35+15+10」国際航空ネットワーク(35本のビジネス航空路線、15本の貨物航空路線、30本の観光航空路線)を構築する。 |

(出所)武漢市现代物流業発展「14・5」規画を基にジェトロ作成

表2 新物流システム「4つの港、4つの軸、3つの物流クラスター」

| | |
|------------|---|
| 4つの港 | 国際競争力のある四大物流ハブ港を構築する。 ・陽邏国際港(武漢市) ・吳家山鉄道基地(武漢市) ・武漢天河国際空港(武漢市) ・鄂州花湖空港(鄂州市) |
| 4つの軸 | 武漢市を中心とした4つの物流連携発展軸を形成する。 ・武漢市-鄂州市-黄石市-黄岡市発展軸 ・武漢市-孝感市発展軸 ・武漢市-咸寧市発展軸 ・武漢市-仙桃市発展軸 |
| 3つの物流クラスター | 先進製造業に重点を置いた三大物流クラスターを形成する。 ・車谷物流クラスター(武漢市南西部) ・光谷物流クラスター(武漢市南東部) ・南部物流クラスター(武漢市南部) |

(出所)武漢市现代物流業発展「14・5」規画を基にジェトロ作成